



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

感染症対策

1月21日(金)から、2月13日(日)まで、まん延防止等重点措置が神奈川県に適用されることになりました。一度落ち着いた新型コロナウイルス感染症も、新たな変異株により、感染が急増している状況に、保護者の皆様も御心配なことと思います。

学校としては、国や県のガイドラインをふまえ、県から出されている配慮事項を確認しながら、感染症対策を考え、子供たちの学びを継続できるようにと教職員で知恵を出し合って環境を整えております。刻々と状況は変化し続けている中ではありますが、子供たちの安全を第一に考え、教育活動を考えてまいります。

1月19日(水)には、黒岩知事からもメッセージが配信されました。一部ですが、御紹介いたします。

〔県民のみなさんへ〕

人混みは危険という意識を強く持って、混雑を避けるほか、マスク飲食や、M・A・S・Kの基本的な感染防止対策を徹底してください。

また、マスク飲食実施店に認証していない飲食店や、21時以降に開いている飲食店には行かないでください。

今後、気を付けるべきは、高齢者に感染を広げないことです。改めて「一人一人が徹底用心」をお願いします。

*上記「M・A・S・K」とは…M（適切なマスク着用）・A（アルコール等で消毒）・S（アクリル板等でしゃへい、接触はショートタイム）・K（距離・換気・加湿）

最善を尽くす

正解のない答えを見出すこと…このことは、幾度も自分自身に問いかける場面があります。たくさんの意見がある中で、何を選択していくのか、判断の根拠を探りながら答えを見出していく…。選択の連続の中で私たちは生きていくのだろうと思います。

昨年の11月に座間市青少年健全育成大会に参加しました。その時に、中学生の主張作文コンクール入賞者の表彰式と作品朗読が行われました。市長賞を受賞した「私と家族～家族を想う選択肢～」の作文の中に、何を選ぶのか選択することの連続であったということが書かれていました。胃ガンになった家族（祖父）の手術後の治療のことや残りの時間を過ごす場所のこと、最期の過ごし方等について、次のように書いてありました。

「祖父を想っての悩んだ選択肢は家族みんなで真剣に考えたものだった。」

最後に、次のように、結んでいました。

「これから僕の両親や周りの人がいつか亡くなる時には、ホスピスだけではなくいろんな場所や方法の選択肢が増えていくと思う。大事な事は、命はとても大切なものだと思うことで、本人の事を考え真剣に思いやって、決断していく事だと思う。何が正しいか分からないけど、その時の僕なりに一生懸命考えていこうと思う。」

中学生の一言一言に込められた思いが心に響きました。私も最善を尽くすことを大切にしていきたいと思います。